国際ロータリー第2780地区第1ｸﾞﾙｰﾌﾟ　WEEKLY REPORT MIURA RC

三浦ロータリークラブ週報

2008～'09年度国際ロータリーのテーマ

Make Dreams Real
夢をかたちに

◇ 国際ロータリー会長
李　東建（ソウル漢江RC）
◇ 国際ロータリー第2780地区ガバナー
山地裕昭（足柄RC）
◇ 国際ロータリー第2780地区第1ｸﾞﾙｰﾌﾟ
ｶﾞﾊﾞﾅｰ補佐　石井伸二（横須賀北RC）
◇ 三浦ロータリークラブ
会長　鈴木康仁
副会長　内藤隆之
会長ﾉﾐﾆｰ　笠倉正弘
幹事　星野雄
◇ 広報委員会（広報.雑誌.IT）
委員長　加藤文幸
副委員長　芹川直行
事務局　山田香
◇ 例会日　毎週木曜日12時30分点鐘
◇ 例会場　三浦商工会議　3階ホール
◇ 例会場所＆事務所住所
〒238-0243 三浦市三崎2丁目22番16号
◇ TEL 046(881)5111㈹ ＊ FAX 046(881)3346
◇ Website：http://www.miura-rc.jp

ニコニコBOX集計報告

・・・	本日	前回迄	累計
ニコニコ	16,000円	266,000円	282,000円
財団	0円	82,000円	82,000円
ポリオ	0円	34,000円	34,000円
米山	1,000円	132,000円	133,000円
周年	0円	7,000円	7,000円
計	17,000円	521,000円	538,000円

２００９年１月２９日 第２３０７回 例会

◇ 点鐘　１２時３０分
◇ ロータリーソング『それでこそロータリー』
◇ ゲスト・ビジター紹介
三浦商工会議所青年部　会長　藤　太郎　様

◇ 1.会長報告　鈴木康仁 会長

皆さんこんにちは。このところ寒かったり、暖かだったり、体調には充分注意し、ご自愛されますようお願い致します。

会長報告と致しまして、まず、今まで会計や例会そしてイベントなど、多岐にわたり大活躍をされました、横浜銀行本山会員が転勤との事、非常に残念です。短い間でしたが、三浦ロータリークラブの会員として大きな活躍をして頂きました。今年度会長と致しまして、感謝申し上げます。大船に転勤との事、大船でも変わらぬ大活躍を期待致します。本当にありがとうございました。

先日よりお伝えしております、３月１日（日）は、三浦国際マラソンのお手伝いと言うことで、お土産のダイコンとＴシャツをお渡しするお手伝いをして頂きますが、３月１日は例会扱いとさせて頂きます。従いまして、本日持ち回り理事会におきまして、３月１２日例会を振替休日とさせて頂きます。事務局より地区、グループに連絡をお願いします。

私事で大変申し訳ありませんが、かねてよりお話させて頂きました。刑務所の仕事が２６日・２７日と夜遅くまで完成図書の作成を致しまして、２８日やっと竣工検査になりまして、もう少し手直しがありますが、ホッと致しました。朝、家を出る時、ご先祖様にお線香を上げ、手を合わせ、無事に終わりますようにとお願いした結果です。

又、三浦市長も大変な期待をしておりました、初声町西部建設施工の大型プロジェクトの件ですが、先日神奈川新聞にも掲載されましたが、銀行の融資ができなくなり、再開の見通しもなく、中止となったそうです。三浦市にとっても人口５万人に戻すチャンスをなくしてしまいました。商工会議所で大見得はって話をしていた、首謀会社（プロパスト）今回のプロジェク

トの担当部長の話を思い出し、本当に時代が悪いんだなーと思うしだいです。

◇ 2. 幹事報告 星野 雄 幹事

※ロータリーの友
※週報　　鎌倉大船ＲＣ
※例会のお知らせ　横須賀北ＲＣ
※抜粋のつづり
　　㈱クマヒラ㈱熊平製作所
※ロータリーカタログ　　和光

◇ 3. 出席報告 内藤隆之 副会長

会員総数２６名　本日出席１３名
本日欠席１２名　出席率は５２％となります。

◇ 4.ニニBOX報告
内藤隆之 副会長

藤　太郎様　本日はよろしくお願いします。
鈴木康仁　藤屋さん。ようこそＲＣへ。商工会議所青年部卒業後はぜひロータリークラブへ!!
星野　雄　藤さんようこそ。三浦ＲＣを楽しんで下さい。お父上とご相談の上、是非御入会下さい。村山会員卓話楽しみにしております。
高木　巖　藤さんようこそ。
村山智城　１月中の長欠のお詫び！今年も宜しくお願い申し上げます！。

◇ 5. 卓話　　村山　智城　会員

横須賀米軍基地から依頼された人が円徳寺に来て、「突然の事だが、基地内に慰霊碑を建てたので、一週間後に法要をして欲しい」との事で了承した。

話によると、明治２年１２月（１８７０）に観音崎沖にて米国の軍艦オネイダ号が、イギリスの商船に追突され沈没した。大勢の軍人が亡くなり、五体満足の死体は横浜山下の外人墓地に埋葬され、バラバラの死体と救助活動に参加した日本人の死体は、東京・池上本門寺の大本堂の傍らに埋葬された。現在もその記念碑が残っている。この度は、「基地内に初めてオネイダ号の犠牲者の慰霊碑が出来たので」との依頼であった。

その日会場に着くと桜が満開で、晴天の下に大勢の来客が既に集まっていた。テントの会席の人達、立ち見の人達の席と、上席には高級軍人達、日の丸の他に米国旗や、いろいろな旗が立ち並び、儀仗兵等も整然と直立して私を迎えた。

開会の挨拶、私の紹介等の後、まず日本国歌、アメリカ国歌等が吹奏された。軍人達の規律・意気込みを感じた。種々な人達の挨拶が続き「死者の四代後の孫」という人も米国から来て、参加の挨拶をした。やがて、私と息子の二人で読経と開眼（魂入れ）の修法をした。恐らく会場の人達は初めての事だと思う。

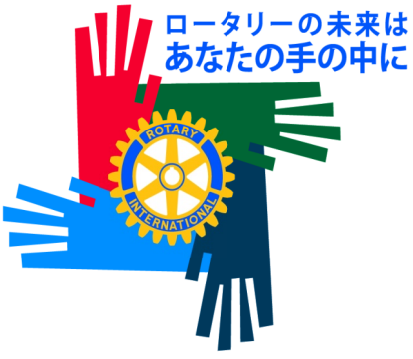
お経が終わると、米国旗を死者用のたたみ方で、四人の軍人が厳かに折りたたみ、上官より四代後の孫に手渡された。約一時間だった。

閉会すると、次々と写真を撮られ、恐らく仏教の坊さんの衣や、その色が珍しかったのでしょう、すっかりモデル気分でした。

その後、クラブでの会食が有り、私が入室の際は全員が直立して迎えてくれた。ここでもモデル役です。そして、例のお孫さんやその他幾人かが話に来た。通訳付きです。その後は食堂で改めてビールや注文食があり、自由な雰囲気で楽しんだ。

数日後、基地からフラッグ等が送られて来た。何故かオネイダ号の資料は余り無い様子で、私なりに調べて見た。日本での記録です。今年は春から国際交流の一と仕事をした気持ちです。

東京・池上本門寺にあるお墓

基地内での修法の様子

次年度のﾀｰｹﾞｯﾄをご紹介いたします。